

「小樽市合同墓拡張工事」の完了について

1 小樽市合同墓の概要

小樽市合同墓は、少子高齢化や核家族化などにより、お墓の継承ができない方や身寄りがない方、経済的にお墓を建立することができない方、お骨を自宅で保管するなど納骨が困難な状況にある方等に使用していただくため、平成24年10月に3,000体のお骨が埋蔵可能な施設として、中央墓地に開設しました。

2 拡張理由

合同墓は、年間60体、50年間の埋蔵を想定（最大埋蔵可能数3,000体）して設置しましたが、当初、想定していなかった「墓じまい」や「寺院等からの改葬」などの増加により、昨年11月末現在で2,543体の埋蔵となっていました。

今後も同程度の埋蔵が予想され、令和2年度中にも許容量を超える見込みであったことから、早急に拡張する必要が生じ、工事を実施してまいりました。

【埋蔵数の推移】

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (R元)	R2	合計
埋蔵 件数	129	288	248	327	324	342	387	498	※195	2,738

※令和2年度は8月末現在

3 工事概要

- ①工事完了日 令和2年8月31日（供用開始）
- ②工事内容 現在使用している合同墓のカロート部分（お骨の埋蔵部分）を増設し、最大埋蔵可能数を3,000体から6,000体を増やしました。

【拡張図・写真】

